

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		わくわく茨城生活実現事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	0502001035
						単独/補助	補助		025101
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	ヤマザクラ課
総合計画の施策名		0502 景観の良い住環境の保全						課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	ヤマザクラグループ
施策名		02 景観の良い住環境の保全						担当者名	
手段名		02 ②定住・空き家支援の推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業	
						単年度繰返し (令和元年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		わくわく茨城生活実現事業、茨城就職チャレンジナビ事業及び地域課題解決型起業支援事業実施要領 桜川市わくわく茨城生活実現事業における移住支援金交付要綱							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、茨城県と共同して行う「わくわく茨城生活実現事業」において、東京圏から移住した者が、移住支援金の支給要件を満たした場合に予算の範囲内において移住支援金を交付する。</p> <p>令和元年6月1日以降の転入者から該当。</p> <p>令和3年3月1日以降の転入者からテレワークに関する要件が拡充された。</p> <p>令和4年2月1日以降の転入者から子育て世帯加算の要件追加。</p>	<p>わくわく茨城生活実現事業の移住支援金関係業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請書受付、要件確認、審査、決定等の業務、移住支援金の支給、定着の確認、債権管理 補助金申請 交付要綱等の改正 移住支援金の対象法人としての登録及びマッチングサイトの掲載依頼

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
わくわく茨城生活実現事業の移住支援金関係業務 ・申請書受付、要件確認、審査、決定等の業務、移住支援金の支給、定着の確認、債権管理、補助金申請 ・対象法人の登録及びマッチングサイトへの掲載依頼		マッチングサイトへの掲載事業所数	事業所	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		移住支援金対象法人の登録事業所数	事業所	3.00	0.00	1.00	1.00	1.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市民		桜川市の人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内事業所への就職、移住・定住を促す。		移住支援金(世帯)を交付した件数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		移住支援金(単身)を交付した件数	件	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	757		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	6	0	253		
			事業費計(A)	千円	6	0	1,010		
			正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
					10 需用費	10		
					18 負担金補助及び交付金	1,000		
					合計	0		合計

事務事業名	わくわく茨城生活実現事業	事務事業No.	50202001035	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、茨城県と共同して行う「わくわく茨城生活実現事業」の移住支援金について令和元年8月27日開催の第3回市議会定例会に補正予算案を提出し、予算措置を行い事業を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
事業所側から対象法人の登録及びマッチングサイトの掲載が煩雑である。就業実績等の成果について質問があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県との共同事業であり、移住定住の政策に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県との共同事業であり、市内事業所等の就職支援、移住定住支援に結びつくものであり、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 東京23区内に在住か又は東京圏のうち条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤していたものが、県のマッチングサイトの対象法人に就業しないと対象とならないなど制度が複雑なため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県支出金を活用する事業であり、支援金制度に興味を示す事業所等もあるなか、影響が出る可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 茨城県との共同事業であり、国1/2、県1/4、併せて3/4の財源負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本年度よりテレワークが要件に加わり相談を受けていたが、申請時に会社の組織変更により勤務先が変更になったことを県に認められなかったため、移住支援金の交付まで至らなかった。引き続き移住支援金対象法人の登録及びマッチングサイトへの求人掲載等の制度周知を図っていく。																								
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上維持低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>